

# 建築デザイン

## デザイン科 建築デザインコース

TW テキスト作品科目
 TX テキスト特別科目
 S スクーリング科目
 必 必修科目
 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2019年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

## 建築デザインコース専門教育科目

STEP①

基礎技術の習得と、名建築の魅力を知る。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
<b>1年次</b>						
環境デザイン概論 [建築]	スターター	S	選	1		[見てみよう、調べてみよう、描いてみよう] 建築デザインコースの学習を効果的に進めるために、実際に課題に取り組みながら、1年次テキスト科目等について解説を行う。
デザイン基礎1(建築)	作図基礎	TW	必	2		[ドリル教材に学ぶ] 建築を学ぶにあたって求められる基礎的な素養、すなわち平面図形の作図や立体造形の把握を身につける。
デザイン基礎2(建築)	立体構成と模型	TW	必	2		[巨匠模型] 建築を学ぶにあたって求められる基礎的な感覚、すなわち立体造形のバランスや美しさを名作建築の模型制作を通して学ぶ。
環境デザイン演習 [建築] I-1	空間特性と表現	TW	必	2		[名建築を語る] 古今東西の名作建築を題材に、建築図面から空間構成の概念モデルの作成を行うことで設計理念や手法を理解する。平面図、断面図などから空間構成のコアとなる要素を抽出しまとめる。
環境デザイン演習 [建築] I-2	トレース	TW	必	2		[名建築に倣う1] 名作建築を題材に、手描き製図で建築図面のトレースを行うことで設計理念や手法を理解する。トレースを通して図面表現の基本や手法を学ぶ。
環境デザイン [建築] I-1	フィールドワーク	S	必	1		[空間と環境] 名作建築や都市空間を題材に、実際の街並・建築空間の様子や魅力を考察する。空間構成のコアとなる設計理念や手法を理解することをめざす。
環境デザイン [建築] I-2	ドローイング	S	必	1		[次元変換の試み] 日常生活の周囲にある建築空間を題材に、よく観察しフリーハンドなどの手法で描写することで空間の成り立ちや構造を発見し理解する。
環境デザイン [建築] I-3	立体表現	S	必	1		[模型基礎] 古今東西の名作建築を題材に、建築図面から建築模型の作成を行うことで設計理念や手法を理解する。建築デザインに必要な立体表現の技法を身につける。
環境デザイン [建築] II-1	空間表現1	S	必	1		[言葉と空間] 言葉から空間構成、そして建築設計へと発展させるプロセスについて森の中の別荘の設計を通して理解する。
環境デザイン [建築] II-2	平面表現	S	必	1		[美しいドローイング] 古今東西の名作建築を題材に、手描き製図で建築図面のトレースを行うことで設計理念や手法を理解する。建築デザインに必要な平面表現の技法を身につける。
環境デザイン [建築] II-3	空間表現2	S	必	1		[コートハウス] 平面的な空間構成に着目して豊かな住空間を構想し、それを図面で表現することで設計の基礎と製図法を身につける。

## 空間を構成する手法と、考え方を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
環境デザイン基礎1 〔建築〕	住宅設計2	TW	必	2		〔構成・7層をもつワンルームの家〕立体造形から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。
環境デザイン基礎2 〔建築〕	一般構造	TW	必	2		〔名建築に倣う2〕名作建築にならない建築詳細図をトレースすることで建築一般構造について学ぶ。
環境デザイン演習 〔建築〕Ⅱ-1	住宅設計1	TW	必	2		〔仕事と庭と部屋〕機能から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。
環境デザイン演習 〔建築〕Ⅱ-2	住宅設計3	TW	必	2		〔集住体を考える〕部分構成から全体構成、そして建築設計への発展に着目して集合住宅の設計に取り組む。
環境デザイン 〔建築〕Ⅲ-1	寸法1	S	必	1		〔スケールスタディ〕寸法や単位空間から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。建築デザインの設計手法について理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕Ⅲ-2	環境1	S	必	1		〔環境をかたちにする住宅編〕機能から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。建築デザインの設計手法について理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕Ⅲ-3	集住	S	必	1		〔ドミトリー〕立体造形から空間構成、そして建築設計への発展に着目して住宅の設計に取り組む。建築デザインの設計手法について理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕Ⅳ-1	住宅架構	S	必	1		〔住宅架構のスタディ〕木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造などの各種建築構法について、屋根・床・壁・天井など建築一般構造に関する基本的事項を身につける。
環境デザイン 〔建築〕Ⅳ-2	表現	S	必	1		〔CADプレゼンテーション〕古今東西の名作建築を題材に、その空間構成を分析し抽出した構成原理をCADソフトウェア〔AutoCAD〕等を用いてプレゼンテーションとしてまとめる。設計理念や手法を抽出することで建築設計手法への理解を深める。
環境デザイン 〔建築〕Ⅳ-3	CAD	S	必	1		〔CAD基礎〕名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。ここではCADソフトウェアを用いた製図を行うことで、建築設計に必要な平面表現および立体表現の技法を身につける。CADソフトウェアの基礎技法を体得し、空間の成り立ちや構造を理解することを目指す。

## 多様な環境の読み方や、プログラムの組み立て方を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
環境デザイン演習 〔建築〕Ⅲ-1	フィールドスタディ	TW	必	2		〔地域のコミュニティセンター_敷地の提案〕都市・建築空間を場所として捉え、それらを構成する要素やプログラム、そこで行われるアクティビティなどに着目して場所としての特性を多角的な視点から読み解き、その場所で何が可能かについて考える。
環境デザイン演習 〔建築〕Ⅲ-2	複合施設	TW	必	2		〔地域のコミュニティセンター_設計の提案〕建築を取りまく都市状況、場所性との関係を理解して複合施設の設計に取り組む。スタディを繰り返し案を練り上げ設計内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン 〔建築〕Ⅴ-1	風景	S	必	1		〔祈りの空間〕建築を取りまく風景との関係を理解して祈りの空間の設計に取り組む。設計内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン 〔建築〕Ⅴ-2	環境2	S	必	1		〔環境をかたちにする公共編〕中規模公共建築の計画プロセスについて多角的な視点で読み解き、実際に空間体験を通して理解を深める。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
環境デザイン [建築]V-3	場のかたち	S	必	1		[図書館] 建築とそのアクティビティの設計に際し、その条件の設定から構想の策定、具現化に至るプロセスについて取り組む。
環境デザイン [建築]V-4	風景と構成	S	必	1		[パサージュのある図書館] 街の界限性を理解して図書館の設計に取り組む。設計内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン [建築]V-5	寸法2	S	必	1		[となりの美術館] 建築家の設計した美術館の分析を通して美術館設計の基礎を学んだ上で、小規模な美術館を設計し、その内容を図面や模型にまとめる。
環境デザイン [建築]V-6	架構	S	必	1		[大きな屋根のある小さな町の駅] 空間を支える架構に着目して公共空間の設計に取り組む。大架構の特性を活かした場を設計して模型にまとめる。

STEP④

## 建築を通してできることを、表現し伝える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
環境デザイン演習 [建築]IV	卒業制作	TX	必	4		自然環境、都市といった人間を含むすべての環境について、建築を通して考え、提案していく力を養う。「卒業制作」の内容を、インターネットを用いて発信可能なWeb形式とプレゼンテーションボードにまとめ、「ウェブポートフォリオ」として完成させる。
卒業制作	ディプロマ	S	必	6		各自がそれぞれのテーマを設定し、これまで学んできた成果を作品として完成させる。教員や学生どうしのディスカッションを通じて、最終的に、「ウェブポートフォリオ+パネル」を作品として発表することを目指す。

### コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

土日を中心とした2日間での開講となります。1～4年次までのほとんどの科目を東京でも開講しますので、卒業要件に必要な単位を東京で開講するスクーリングだけで修得することも可能です。スクーリング科目(必修科目)は事前課題に学習用Webサイト「airUマイページ」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンとプリンターが必要になります。また、2年次の必修科目「環境デザイン [建築] IV-2、IV-3」ではノートパソコンの持参が必要です。